

千葉集会 / 第7分科会

# コレクティブハウス かんかん森の試み

宮前真理子

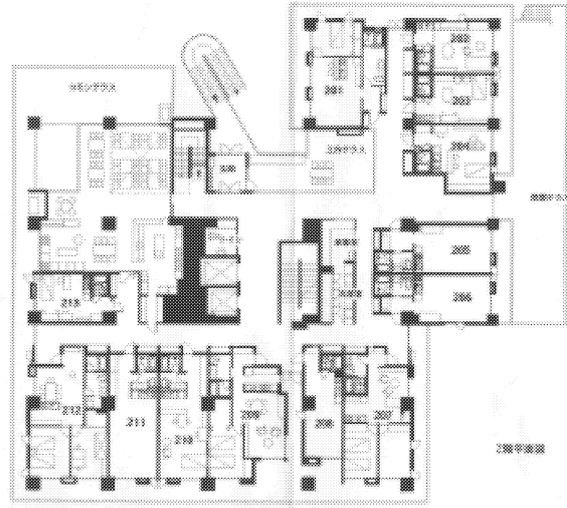
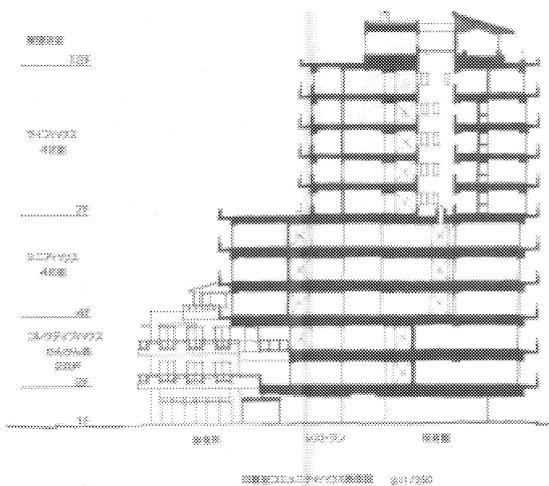
(NPO コレクティブハウジング社副理事長)

コレクティブハウスかんかん森はJR日暮里駅から徒歩15分ほどの荒川区東日暮里3丁目に建設中の日暮里コミュニティハウスの2、3階にできる28戸の賃貸集合住宅です。入居は2003年6月の予定で現在建物の建設と居住者のコミュニティづくりが進められています。

コレクティブハウスとは何か？聞き慣れない名前と思われる方も多いかもかもしれません。

かんかん森の特徴をお話しながら、私達が目指している、新しい共に住む形コレクティブハウジングについて御紹介したいと思います。

日暮里コミュニティハウスは12階建て



で、事業主体は(株)生活科学運営という高齢期の住まいを提供してきた会社です。4階から6階は介護が必要な高齢者の為のシニアハウス、7階から11階は自立した高齢者のための住宅ライフハウスです。12階には展望浴室、1階にはレストラン、診療所、0~2歳児を対象にした保育園、多目的室、事務室などがあります。このような構成の中に、多世代の賃貸コレクティブハウスかんかん森があります。(断面図)

かんかん森の平面図をみていただくと、大きな特徴に気づかれると思います。(平面図)まず2階に、大きな食堂とリビングルーム、キッチン、他に障害者用トイレ、洗濯室、家事コーナー、3階に居住者組合事務室、倉庫、SOHOがあります。これらはコモンスペースとして住居の一部であり、各住戸から面積の13%程度を出し合う形で、生み出され約166㎡あります。このコモンスペースの家賃も住まい手の皆さんによって支払われます。コレクティブハウジングでは、一人や小さい家族では持てない空間や機能を共同して出し合うことで生み出し、豊かな、可能性の広がる空間や合理的な設

備機能などをもち、なんでも個々の住戸に持込むのではなく、住戸はトイレやキッチンが完備し、コンパクトでも心地よいプライベートな空間づくりをします。

また、住戸の大きさがまちまちであることにも気がつかれると思います。多世代のコミュニティを目指しているかんかん森は25㎡~61㎡までバリエーションに富んだ住戸があります。一人暮らし、数人の家族など様々な家族構成や収入、居住形態の方々が集まるには、単一な住宅プランでは対応出来ないということから、一つの集合住宅の中でいくつかのタイプが選べるような住戸計画を検討してきました。家賃はコモンスペース分も含み7万1千円~17万4千円です。

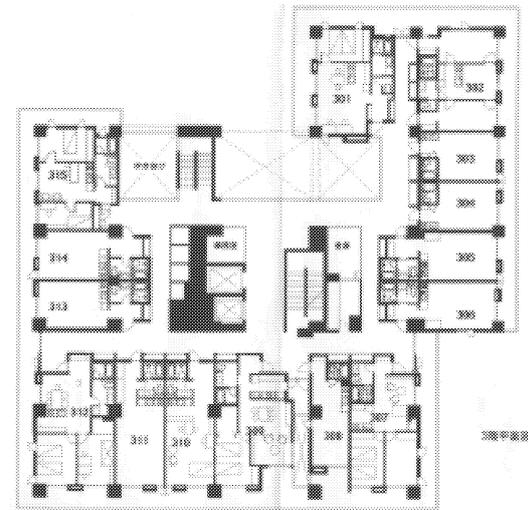
現在かんかん森住戸は13戸が予約されています。居住者組合「森の風」のメンバーは17歳~70歳まで20人おり、男女比はほぼ1:2となっています。シングルの方が12人、夫婦、親子、他人同士のシェア希望などの二人暮らし予定が8人という構成で、様々な年代、様々な経歴、家族構成の方々が混在し、多様な方々の集まるコ

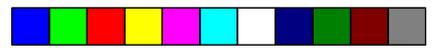
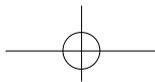
ミュニティになっています。まだ、15戸の空室がありさらに豊かなバラエティーのある参加者募集中で、月に2回説明会を開いています。

もう一つかんかん森の大きな特徴は、住まい手の参加による計画づくりと住まい手自身による自主管理、運営という点です。かんかん森の計画は2001年1月の参加者募集以来、参加希望者がワークショップ形式で参加しながら進められて来ました。ワークショップの運営や住まい手のコーディネートは私達NPO コレクティブハウジング社が事業主体から委託を受けて行ってきました。

はじめは「コレクティブハウスつくるワークショップ」と題し、コレクティブハウスを知り、また自分のしたい暮らしを考え、コモンスペースのゾーニング、内容、住戸との関係などを図面や、原寸体験などを交えながら7回シリーズのワークショップ(WS)で検討し、さらに第2期「豊かな暮らしづくりのワークショップ」6月~10月全6回により、設計計画に反映できる内容をまとめました。この2つのワークショップの参加者は延べで100人以上だったと思いますが、年末に居住希望者として住戸を希望したのは10人でした。このメンバーが中心になって、2002年1月 コレクティブハウスかんかん森 居住者組合「森の風」が設立されました。

また、コレクティブハウジングは住まい手による、建物の管理、共同の掃除、夕食づくり、庭づくり、エコロジカルな暮らし方など、空間を活かしながら暮らしの主体的運営をすることで豊かで経済的な暮らしを実現します。現在、「森の風」は月1回の定例会、4





人で30人分の夕食を試験的に作り、希望者が食べるお試しクッキングとCOMMONミール、建設・緑化・備品・暮らし方・ペット・省エネ・広報など11の委員会活動など様々な活動を行いつつ、自立と共同の暮らしのイメージを具体化することに取り組んでいます。半年前までは見ず知らずの人々が、誰かが作った食事を笑いながら食べている、ジェンダー学習会や、光ファイバーの検討、ガーデニングの研究、それぞれが自分のやってみたいことを企画し新しい刺激がみんなを生き生きさせる。話し合いがまとまらない時もあるし、お金の心配もある。でも、空間と時間、エネルギー、みんなの知恵を重ね合わせて、豊かで経済的な協働が生きる暮らしが少しずつ皆さんによって見えて来ています。

こうしたプロセスがコレクティブ人を育てることを私達も実感しながら、現在は住まい手の活動、ネットワークづくりの支援をしています。

千葉集会 / 第12分科会 /

## 地域住民とともに、誇りをもって働きたい

～タクシー労働者が自ら出資して「ワーカーズコープタクシー」を設立～  
廣瀬早美  
(ワーカーズコープタクシー福岡代表取締役)

### 1. 事業の概要

(1) 設立メンバーの参加条件は、目交総連の組合員であること 所属単組が推薦した人 一人100万円を拠出(30万円は退職時に返済、70万円は十年据え置き後、2年目から4年間で分割返済)。

参加者以外からの拠出金は13人から1,370万円集まった。

(2) 当面、志免営業所1カ所、タクシー車両15台43人体制(予定年商1億6千万円)で出発し、早急に前原営業所(5台9人体制)を申請する予定。

3年以内に50台120人体制(目標年商8億円)を目指す。

(3) 7月23日に営業許可申請をし、10月22日にヒアリングと事業主試験が終わり、11月末に許可される予定。

許可が下りれば、12月15日からタクシー事業を開始。介護タクシーは、12月10日迄に申請し1月から始める。

その他、損害保険代理店業務(9月10日から契約21件)、生命保険募集業務(10月22日から契約2件)は現在営業を始めてい

